

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス はっぴー・キッズ		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 20日		～ R8年 4月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	R8年 3月20日		～ R8年 4月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しています。 職員1人ひとりが、スキルUPの向上や自ら外部研修に参加しています。	毎日、ミーティングを実施して、児童の様子や取り組みを話し合っています。 職員間で研修内容を周知しています。	ミーティングノートを活用し、全職員に周知できるように徹底しています。
2	アセスメントを適切に行い、利用者様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しています。	随時、アンケートや保護者様との面談を実施しています。	保護者様と利用者様のお話をしっかり伺いながら、計画作成に努めています。
3	色々なレクリエーションやお出かけイベントを開催しています。 小集団で様々な年齢と関わる環境が整っています。	ミーティングなどで、職員同士で情報交換をして、イベント内容を話し合い企画しています。 異年齢児童同士などの、関わり方をその都度伝えています。	職員同士で、インスタグラムにチラシやテレビ、SNSなどの情報収集をして、イベントの企画をしています。 様々な年齢のお友だちと関わる喜びを共有していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりが少ないです。	平日は室内の活動が多く、地域に出での活動が少ないです。	地域の八百屋さんやコンビニ（ファミリーマートさん）などの地域との関わる機会を増やしていきます。
2	幼稚園・保育園・小学校等と必要に応じて連携しているが、病院などの連携は少なく感じます。 児発と放デイが1フロアで過ごす為、午後からスペースの不足を感じます。	普段から他の関係機関と交流する機会が少ないです。 利用時間、安全確保の必要性、活動内容の混在、荷物、備品のスペース確保（ベビーベット・マットなど）のスペースの工夫や確保が難しい。	サービス担当者会議以外でも、普段から変化等があれば情報を共有するよう取り組んでいます。 乳児などを午前中心に利用提供するなど、時間帯を工夫します。
3	お子様のデイでの様子や活動を知る機会が少ないです。	デイでの様子や活動を知る機会が少ないです。	写真展示会を行い、活動内容やお子様の様子を知っていただく機会を作ります。